

企業研究

学生×経営者



2020

6

バレエシューズ「ファールファール」など女性向けファッションブランドを展開する中堅アパレル。衣料品を通して、人々を楽しく、美しくするだけでなく、業界の課題解決や地球環境保全などにも目を向ける。沼部美由紀社長に今後の展望を聞いた。

―会社の始まりは。

「大手銀行を辞め、1996年、食器の輸入販売会社として設立しました。すぐに洋服も仕入れるようになり、自社企画も始めました。2013年、当時、日本では珍しかったバレエシューズのブランドを立ち上げたところ大ヒット。今では、売り上げの50%を占める主力事業になりました」

クロシェホールディングス(神戸市中央区)

沼部美由紀社長(50)

受注販売で業界課題を解決



バレエシューズを手に、アパレル業界の課題解決への思いを語るクロシェホールディングスの沼部美由紀社長＝いずれも神戸市中央区元町通5



クロシェホールディングスの本社



エムラボ

―事業の特長は。

「バレエシューズはもちろん、丈の長さを選べるのが人気の『神戸・山の手スカーツ』など、常に新しい視点を大切にした商品作りを心掛けています」

―コロナ禍の影響は。

「アパレル業界は、商品を大量に見込み生産し、そ

―今後の戦略は。

「時代が大きく動いてい

「緊急事態宣言などで全店の数を数カ月間、休業しました。その間に取り組んだのが会員制交流サイト(SNS)を使ったライブ配信。店員がお薦めの服や着こなしを紹介し、ネット通販へとつなげました。これからの時代の販売形態として手応えを感じています」

―求める人材は。

「時代が大きく動いてい

「求めたいです」

「(まとめ・中務庸子)

メモ

従業員約80人。2020年1月期の売上高は約11億円。セレクトショップ業態と自社企画で全国10店を展開。新卒・中途を

078・382・4012

〓おわり〓